

「乳がん検診」「子宮頸がん検診」はどうやって受ければいいの？

岡崎市では対象の方には、5月下旬に「がん検診受診券」を郵送しています。

職場などで受診の機会がない方は、市の検診をぜひご利用ください。

子宮頸がん検診	乳がん検診
●対象年齢 20歳以上の女性で 前年度市の検診を受診して いない方 ●検診内容 子宮頸部の細胞診 子宮頸部の細胞を綿棒などで採取し、 がん細胞の有無を確認します。	●対象年齢 40歳以上の女性で 前年度市の検診を受診して いない方 ●検診内容 マンモグラフィ(乳房 X 線撮影) 専用の装置に乳房を挟んで、X線撮影を 行います。 小さながんの発見も可能です。

もう「検診は受けた」という方は

検診の結果はいかがでしたか？「異常なし」の方は、また2年後に検診を受けましょう。

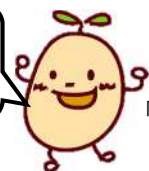
「要精密検査」の方は、できるだけ早く病院へ行きましょう。

早期発見・早期治療へのチャンスです。必ず、精密検査を受けましょう。



岡崎市がん検診
詳しくはこちら

検診は2年に1度
必ず受診しよう



岡崎市健康・食育
キャラクター
まめ吉

※ このリーフレットの検診のご案内は、岡崎市にお住まいの方向けの情報です。
岡崎市外にお住まいの方は、お住まいの自治体へお問い合わせください。

発行：岡崎市保健部健康増進課（TEL 23-6639）

ピンクリボンキャンペーン

乳がん・子宮頸がん検診を受けて



を
手に入れませんか？

ぜひ受けてほしい！そのワケは…

働く世代では女性の方ががんにかかりやすい

女性は男性よりもがんになりにくいと思って
いませんか？

実は、35～44歳の働き盛りの世代の女性は、
男性の **3倍** もがんにかかっています。

乳がんは早期発見・治療で多くの命を救える！

乳がんは他のがんと比較して、5年相対生存率が高
いがんです。初期(stage I)で発見された場合
ほぼ100%治癒します。

子宮頸がんは20代・30代にも多いです

多くのがんは40代以降でかかる人が増えます。
子宮頸がんだけは20代後半から30代でかかる人が
増えます。

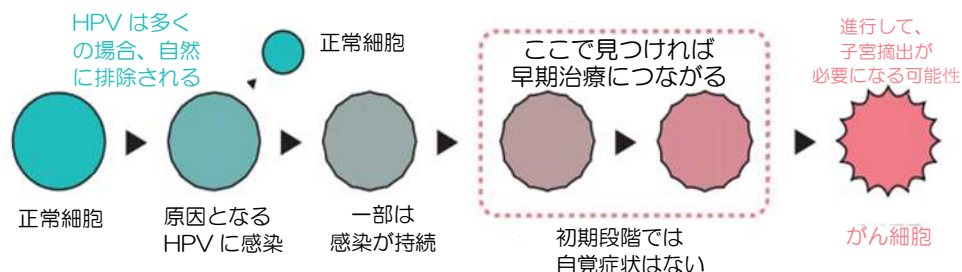
「子宮頸がん」のを知ろう！

●子宮頸がんとは

子宮頸がんは、ウイルスが原因となり子宮の入り口付近に発症します。
20歳代や30歳代の若年層で増加傾向にあり、赤ちゃんが産めなくなるなど、若い女性の妊娠や出産の可能性、健やかな日常生活を奪うがんと言えます。

●子宮頸がんの主なリスク

子宮頸がんの要因として、ヒトパピローマウイルス(HPV)の持続的感染が確認されています。HPVの感染はほとんどが性的接触によると言われています。通常は感染しても免疫機能により排除されますが、排除されずに一部の人の細胞ががん化することがあります。



●あなたの子宮頸がん危険度チェック

- ☐ 20歳以上の女性である
- ☐ 妊娠・出産回数が多い
- ☐ 喫煙の習慣がある
- ☐ 子宮頸がんワクチンを受けていない



「乳がん」のを知ろう！

●乳がんとは

乳がんは、乳房の中にある乳腺にできる悪性腫瘍です。日本人女性が生涯で乳がんにかかる確率は9人に1人とされています。しかし、早期発見・早期治療により、高い確率で治癒すると言われています。

●乳がんの主なリスク

女性ホルモン「エストロゲン(卵胞ホルモン)」がリスク要因とされています。エストロゲンの濃度が高いことや、濃度が維持された期間が長いほどリスクが高いとされています。また、エストロゲンは脂肪細胞との関連が深く、肥満もリスク要因の一つになります。それに加え、飲酒・喫煙習慣や糖尿病もリスクを高める要因の一つです。

●あなたの乳がん危険度チェック

- ☐ 40歳以上の女性である
- ☐ 初経年齢が早い、閉経年齢が遅い
- ☐ 妊娠・出産や授乳の経験が少ない
- ☐ 初産年齢が遅い(出産経験がない)
- ☐ 家系内に乳がんになった人がいる
- ☐ 肥満である(閉経後)
- ☐ 女性ホルモン剤を使用したことがある
- ☐ 良性乳腺疾患にかかったことがある



出典：2017年国立がん研究センター最新がん統計
厚生労働省性別・年齢階級別がん罹患患者数

●はじめよう！フレスト・アウェアネス

フレスト・アウェアネスとは、日ごろから乳房を意識して生活することです。

4つのポイント

- ☐ 自分の乳房の状態を知る
- ☐ 乳房の変化に気を付ける
- ☐ 変化に気づいたらすぐに医師に相談する
- ☐ 40歳になったら乳がん検診を受ける



4つのポイントの詳細はこちらをご覧ください。

